

病理組織標本作製のご案内

(病理検査担当部門用)

ご準備、ご提出いただく病理組織標本・検体・書類

- | | |
|---|---------|
| <input type="checkbox"/> 核酸抽出・解析に使用する検体/標本： 未染標本 or FFPE ブロック | |
| (次項の「選択時の注意事項」「作成時の注意事項」をご一読の上、ご準備をお願いします。) | |
| | |
| • 未染標本スライドガラス (5 μ m 厚、ノンコートガラス) | |
| 検体サイズが 25mm ² (5×5mm) 以上の場合： | 10 枚 |
| 検体サイズが 25mm ² (5×5mm) 以下の場合： | 15~20 枚 |
| | |
| • FFPE ブロック | 1 個 |
| | |
| <input type="checkbox"/> HE 染色標本スライドガラス | 1 枚 |
| | |
| <input type="checkbox"/> 病理組織標本の品質評価シート | 1 枚 |

核酸抽出・解析に使用する検体/標本 選択時の注意事項：

* 遺伝子パネル検査の成功は、病理組織検体（FFPE ブロック）の品質にかかっています。がん遺伝子パネル検査用に送って頂く検体は、品質に関わる下記の要素をなるべく満たすものをご準備、ご選択下さい。

品質に関わる要素	推奨
1. 検体採取からホルマリン固定までの時間	可及的すみやかに固定 冷蔵庫保管にて 1 時間以内（少なくとも 3 時間以内）に固定、常温で長時間放置は極力回避
2. ホルマリン固定時間	6-48 時間
3. ホルマリン濃度	10%中性緩衝ホルマリン（推奨 A） 15%中性緩衝ホルマリン（推奨 B）
4. FFPE ブロックの保管期間	作成後 3 年以内が目安（新しいほどよい）
5. 腫瘍含有量	腫瘍含有量が多く（>50%推奨）、炎症、出血、壊死がなるべく少ない検体

日本病理学科「ゲノム診療用病理組織検体取扱い規定」より

- * 検体サイズが小さい場合（生検など）は、可能であれば FFPE ブロックでのご提出が望ましいです。理由は、解析に必要な DNA 収量確保のため、追加標本作成等の対応を要する場合があります。ただし、この場合、ブロックをすべてつかいきってしまう可能性があることをご了承ください。
- * 検体が複数回にわたり採取され（例：生検 2 回＋手術 1 回）、最適な検体/標本の選択に迷われる場合は、候補となる検体/標本をすべて送っていただければ、当院病理部にて検体/標本の選択を行います。その際は、検体/標本を入れる容器と品質評価シートの採取日時欄の余白に、各検体の貴院における検体番号をご記入お願いします（スライドガラスのフロスト部には記入しないでください）。
- * 迅速生検等で凍結したのちにホルマリン固定された検体は、使用可能です。（一般的に採取から固定までの時間が短く、良好な品質が得られることが多いです）。

未染標本スライド作成時の注意事項：

- * コンタミネーションをさけるため、以下の点にご留意をお願いします。
 - 新しいマイクロームブレードをご使用ください。
 - ウォーターバスは洗浄し、新たに水をはった状態でご使用ください。
 - 新しい手袋をご着用の上、作業を行ってください。
- * 進展や乾燥のための加熱は避けてください。
- * スライドガラスのフロスト部は、未記入でお願いします。（患者氏名や標本番号などの個人情報記入しないでください）。

